

大阪府立千里高等学校 第15回「千里フェスタ」及び
「SGH/SSH生徒研究発表会」「SGH/SSH実践報告会」「教員対象公開勉強会」の
開催について（一次案内）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解ご支援を賜り、ありがとうございます。

さて、本校では、「総合的な学習の時間」や学校設定科目「探究」「科学探究」などの国際・科学高校の特色を生かした学習成果発表の場として「千里フェスタ」を実施しており、本年は下記のとおり実施いたします。

本校は平成27年度より「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」、平成29年度より「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」（2期目）の指定を受け、研究開発に取り組んでおります。

当日は、「千里フェスタ」と併せて「SGH生徒研究発表会」「SSH生徒研究発表会」、さらに教員対象の「SGH実践報告会」「SSH実践報告会」「教員対象公開勉強会」を実施いたします。多くの方にご参観・ご参加いただき、本校の取り組みについてご指導、ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

1. 日時 令和2年2月8日(土) 9:00～16:00
2. 会場 大阪府立千里高等学校 大阪府吹田市高野台二丁目17番1号
(阪急・大阪モノレール山田駅から南へ800m、阪急南千里駅から北東 900m)
3. 内容

| |
|--|
| 8:30～受付 |
| 9:00～11:50 |
| ① 授業成果発表 <ul style="list-style-type: none">・1,2年生が約20会場に分かれ、「探究」「科学探究」「情報」「英語」「海外研修」などの成果発表のプレゼンテーション等を行います。・「生活科学」などの成果作品を展示します。 |
| ② SGH生徒研究発表会(視聴覚教室) <ul style="list-style-type: none">・国際文化科2年「探究」口頭発表 |
| ③ SSH生徒研究発表会(図書室) <ul style="list-style-type: none">・総合科学科2年「科学探究」口頭発表 |
| 13:00～13:45 SGH実践報告会 |
| ① 課題研究 『探究』 |
| ② 課題研究を支え・広げる活動 (講演・ワークショップ・国内フィールドワーク・『探究基礎』・海外研修等) |
| 14:00～14:45 SSH実践報告会 |
| ① 課題研究 『科学探究』の進め方 |
| ② FSG(Future Scientist Group)について |
| 15:00～16:00 公開勉強会『SDGsを活用したホールスクールアプローチの実践－探究を軸にした主体的学習者の育成に向けて－』 |
4. 参加申込 2月8日(土)の午前中の生徒の発表会は一般公開です。参加方法については、後日ご案内をいたします。(本校生徒の保護者様には別途ご案内いたします。)また、午後の実践報告会及び勉強会は教育関係者のみの公開となっています本校ホームページの申込フォームからお申込みください。(ただし教育関係者に限ります。申込時に必要なパスワードは関係の学校にはご案内をしていますが、

それ以外の教育関係の方は、お問い合わせフォームからお問い合わせください。
<https://osaka-senri-hs.net/formcontact/>)

5. その他 来校は、公共交通機関をご利用ください。当日は食堂が開いておりませんので、各自昼食をご持参ください。食事場所は用意いたします。

1. 発表について

国際文化科 2年『探究』 **SGH 生徒研究発表会** **探究プレゼン**

- 『探究』では、SDGs を課題としたテーマの講座にわかれて課題研究を進めています。今回はその研究の成果を発表します。



国際文化科 1年「探究基礎」 **ディベート**

- 社会課題を多面的に理解し、現実的な解決策を提案する力をつけるために、「探究基礎」の時間にディベートに取り組んでいます。千里フェスタでは、代表6チームが対戦します。

国際文化科 2年「グローバル・コミュニケーション(GC)」 **ディベート**

- 英語の科目「GC」で、現在の地球的問題について英語でディベートを行っています。千里フェスタでは代表チームの対戦を公開します。



総合科学科 2年『科学探究』 **SSH 生徒研究発表会・科学探究プレゼン**

- 「科学探究」では、数学・物理・化学・生物・スポーツ科学の各グループにわかれて課題研究を進めています。今回はその研究の成果を発表します。
- SSH 生徒研究発表会では他の SSH 指定校による発表もあります。



総合科学科 1年「科学探究基礎」 **口頭発表**

- 「科学探究基礎」では、科学の実験や観察、データの処理、論文の書き方など、研究を進める上で必要となる技能や方法を身に付けます。情報分野の課題として、自分の興味ある科学的なテーマについて、インターネットなどで調べ、発表する「科学プレゼン」を行いました。その一部を紹介します。

※当日の発表タイトルは、本校HPをご覧ください。(1月下旬頃更新)

<https://osaka-senri-hs.net/scholl-life/festa/>

この他、SGH、SSH海外研修、国際文化科2年「生活科学」の成果を発表、展示・掲示します。

2. 公開勉強会『SDGs を活用したホールスクールアプローチの実践—探究を軸にした主体的学習者の育成に向けて—』について

講師には、立命館守山高等学校の田辺記子先生をお招きします。

ユネスコ主導の国際行動枠組である「ESD (Education for Sustainable Development)に関するグローバル・アクション・プログラム」では、ESD 推進における優先行動分野の一つとして「機関包括型アプローチ (ホールスクールアプローチ)」を挙げています。

立命館守山高等学校ではユネスコスクールとして教科内外の ESD 活動が種々行われていました。この活動を探究の軸にすえてキャリア教育として位置付け、点から面につながるツールとして SDGs を活用されています。